

回覧

ボランティアステーション



湯原支所 Vo.Ⅲ だより

赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金ご協力ありがとうございました！みなさんから寄せられた募金の約6割が、真庭のまちを良くするための住民活動や、社協と地域住民が協力して実施する活動に活用されています。残りの4割は障がい作業所の車両や社会福祉施設の改修など民間で活動する組織の支援に役立てられます



令和6年度 湯原地区

共同募金 444,758 円

歳末募金 160,500 円

募金活動を行いました。
運営関係者や募金へご協力していただいた方々
ご協力ありがとうございました。

令和6年11月10日 二川ミライエ
15,115 円



令和6年11月24日 湯原パンマルシェ
10,228 円



募金箱の設置ご協力ありがとうございました。

○湯原振興局 ○ひまわり館

○湯本温泉館 ○足温泉館

○湯原温泉病院 ○セブンイレブン禾津店

○森のホテルロシュフォール

湯原地域での募金活用方法

「おでかけ交流会」

1人で外出が難しい方を対象に年2回自分で商品を見て買い物する楽しみなどをサポートする事業。6月12月実施 計26名の参加者。



ボランティアの方に袋詰めや荷物運びを手伝っていただきました

「子育て支援事業」

湯原地域の子どもの為に、こどもの居場所についてアンケートを実施。こどもの居場所づくりとして来年度こども食堂を計画。



「福祉学習」

湯原小・中学校で福祉学習を実施。車いす体験・高齢者疑似体験・障がいがある人との交流等をとおして当事者の気持ちを知り、「共に生きる」視点について学びました。



「ふれあいいきいきサロン」

地域で暮らす住民が、歩いて通える身近な場所に気軽に集い、「地域での見守り」「仲間づくり」「健康づくり」を行うサロン活動。



「ボランティア講座」

ボランティアに興味がある方を対象にボランティアが始めやすい講座を開催。(次ページから紹介)



そのほか、貸出福祉機器の整備、生活困窮者への補助などに活用されます



ボランティア講座について紹介

～地域へ障がい理解の輪を広める～

旭川荘真庭地域センターと協働してボランティア講座を R7.2.15 開催。

ボランティア 2 名の参加者が体験をとおして、障がいがある人の気持ちを知り
障がいがある方の日常の様子や活動などを地域へ発信する記事を作っていました。



湯原温泉地区にあります

ボランティア参加者

2 名とも
障がいがある人
の力になりたい
という想いで応
募してください
ました！

近藤 淳志さん
(湯原中学校 2 年)

(療育活動・作業活動・生活支援を提供する通所型の施設。)

家庭で生活をしている障がいがある方に対して福祉サービス

旭川荘真庭地域センターってどんなところ？



体験内容

- ①はじめにボランティア・障がいについての座学
ボランティア活動の意味や障がいの種類や対応方法を学びました。



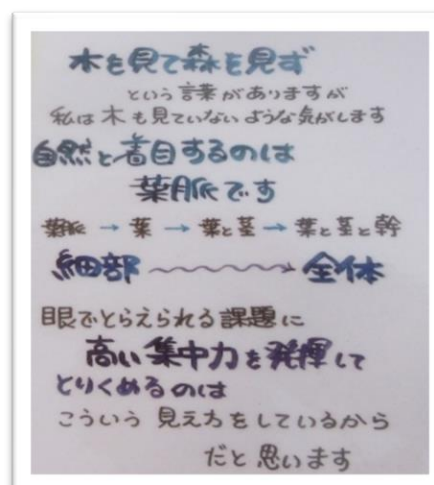
②利用者さんとの交流体験。

利用者さんとのクッキングで直接お話ししたり、一緒に作業をしました。



③キャップハンディ体験

障がいがある人の気持ちを知る体験。軍手を何枚もはめ折り紙をおる体験、ペットボトルの蓋から絵を見て一部に焦点が当たる見え方や考え方の体験、ネガティブをポジティブに言い換える体験など



④利用者さんにインタビュー

旭川荘真庭地域センターの近くにあるグループホームで暮らしている方へ
普段の暮らしや地域との交流についてなどをインタビュー。



体験した内容やインタビューの内容を地域へ発信する記事づくりをしていただきました。下から実際にボランティアの方が書いた記事になります。

近藤 淳志

ボランティア新聞



キャブハンディ体験の
成心相心

軍手を三重にして折り紙を折り、色々指事をした時は、

早く！とか、キレイに！と言われ
自分でやろうと思つてるけど、できな
い。もてかしべを感じいました。

次は指導された絵を描くというものでした。ホールヤリ人ごぶぶうなどはすぐに描けましたが、チャコとチャコは絵にするのが難しく、障害をもたれている人もチャコといわれてもわからないのか分からなかった。で、具休的にいうようにしようと思いましたが。

最後は、事故の絵を見せてもらい、
自他たゞはすぐに事故の絵をわがま
かジンブルフィカス^①を体験したう
ごく一部のところが見え、悪いほう
にえぼきまりがきえて、なごい、えま
いふうにえぼきまがいて、ところま
いりつりつりミンパの大いさも学
びました。

土也
土或
に伝
ふたい

グループホームの生活

541

Word A

Q ぼんはむつしをまするか？

A 平日は世話人さんが朝まで夜まで
は加川荘で食べている休日は
世話人さんが朝昼夜つづいてゐる。

Q 買入物はどつてますか？

A 買入物(日用口買物果菜など)を紙に書いて買ってきたものを引出した時には自分でもうかうも

Q 洗濯はどのようにしますか？

Q 案でのルールはありますか？

A あまりないけど朝が早いので早く寝ることにしている。

Q 地域の人たちと交流することはありますか

A あるボツヤをしたりとんでや魚の
つがめど、モルック大会なむをして
いる。またあにちとたい!

体^い験^{けん}をとおして
自分^{自分}達^{たち}にびびるこ

まゝは声かけがらやて
みたに思いました。

あんなにや困っていたら

大丈夫ですか？

何か手伝えることは

おんまゐりかた

と声をかけてあげたいです。

一言で障害といっても、

さまさまな物がある人に

か、かきつました。

これから
~~排除~~する

のではなく共に生活

でぎるようにしたいし、

人にあおせて臥機底を
ニすといひきゐるものこ

したのです。

グループホームで体験して

S. H

キャッハッピー体験の感想

初めての笑顔をみて、私達があたり前に生活出来ている大切さも知り、また、ホームで生活されている方々もハンディがありながらもいろいろな事にとりこんでいらっしゃる事にもおどろきを感じた。自分の気持ちと伝える難しさ、もどかしさもあると思いましたが、それもその方がお互いの気持ちを察してゆくり話し、ゆくり聞き、理解ある中で生活していらっしゃる事に考えさせられた一日でした。

地域に伝えること、グループホームでの生活

グループホームの人との話し合いの甲斐、地域の人との交流はともかく、外に出ておられると、様々な経験、運動会、花植え、ハンサキ祭り、E.T. ...、生活の面でも、うい洗濯、時々、食事等も自分達協力して作り、楽しそうにしておられます。働いている方も、忙し中でも笑顔で相手の気持ちを察して、大いに接して、おられる事に感心させられました。

体験を通して自分達にも出来る事。

ハンディの種類はいろいろありますが、個性と捉えてほしいです。一生懸命共に生きている人間です。散歩する姿をみかけたら声をかけたいです。同じ地域で生きよう、私達です。笑って過ごしたいと思ひました。

